

そ の 他

その他

1. 久留米市社会福祉協議会（愛称 は～とふる久留米）（社会福祉法第109～111条）

社会福祉協議会は社会福祉の増進を図るため、住民の福祉活動の組織化、社会福祉を目的とする事業の連絡調整及び事業の企画・実施を行う公共性と自主性を有する民間組織で、地域における住民組織と公私の社会福祉事業関係者等により構成されています。

急速な少子高齢化の進展による社会環境の変化の中で、社会福祉協議会が果たすべき役割は、ますます重要性を増し、「住民主体」の理念に基づき、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず市民一人ひとりがかけがえのない人間として尊重され、生きている幸せを実感できる「支え合うところあふれるまちくるめ」をめざして地域の福祉課題の解決に積極的に取り組んでいます。

1. 主要事業

(1) 地域福祉活動の推進支援

① 「くるめ支え合うプラン」の地域展開

地域に対し「くるめ支え合うプラン」を引き続き周知していくとともに、各校区で作成する「校区福祉活動計画」の策定・見直しを支援します。併せて、次期「くるめ支え合うプラン」の見直しに向けた準備を始めます。

② 見守りや支援の対象者を広げる

見守りや支援の対象者を広げる取組として、高齢者や子ども、障害者などの様々な事例について、行政や相談機関、学校、NPO法人等と情報を共有し、協力して支援するとともに、生活困窮者等への支援に繋がるフードドライブ活動等の支援、普及に努めます。

また、校区社協やふれあいの会、支え合い推進会議が行うボランティアスクール等の学習会などを通して、支援を必要とする様々な人や世帯の現状と課題への理解を促します。

さらに、ふれあいの会等による見守りや訪問活動の充実・強化、いきいきサロンの設置を支援します。

③ コミュニティ組織との新たなネットワーク化

支え合い推進会議を通して、団体同士の関係を深め、困っている人と支援者との関係づくりを進めます。

また、地域の絆づくり、支え合いの意識の醸成に繋がっている活動や取組みの把握に努め、普及につなげるため、各種媒体を活用した広報周知に取り組みます。

④ 興味や関心事を軸として集う市民グループや経済団体等、多様な主体との連携

地域で活動する、興味や関心事から集う市民グループや経済団体等について情報収集をするとともに、積極的に関係を深め、それらのグループが行う、様々な活動や企画等に協力する。また、こうしたグループが地域に根差した地縁組織（地域コミュニティ組織等）との共同企画や事業などへ繋がるよう支援します。

また、好事例が生まれた市民グループの活動内容を地縁組織や、その他の市民グループへ周知し繋がり循環を広げます。

⑤ 地域福祉を担う人材の育成

社会福祉大会、ボランティアフェスティバル、校区社協交流学習会などを実施し住民参加の地域福祉活動の目的や重要性を訴え、地域福祉への理解を深めます。

また、校区社協等と学校に加え、子供たちの普段の生活に関わりの深いPTA等との連携を強化し、協働して行う福祉教育の取り組みを支援し、地域に根づいた福祉教育の充実を図ります。

さらに、企業等に働きかけ、校区コミュニティ組織や当事者団体等の協力を得ながら、学習会、研修会などの社会人の福祉学習の機会づくりにも取り組みます。

(2) 相談・支援

① 組織内の情報を支援活動に生かす

生活支援課の生活福祉資金の貸付や在宅福祉課の介護保険事業等を通じて把握される要支援ケースについて、当事者の同意の、必要に応じて地域福祉課のコーディネーターと情報を共有し、連携して支援を行います。

また、昨年の豪雨災害による被災者に対して実施した個別訪問等により発見された生活課題、福祉課題を抱えた人（世帯）に対して寄り添った支援に取り組みます。

② 継続的で柔軟な対応を行っていく

「複合・狭間」の課題の解決に向け、継続的で柔軟な対応を行うために、関係機関、関係住民、当事者等

が課題の解決に向けて協議する場（重層的支援会議）を設けるとともに、関係機関が把握していながらも支援が届いていないケースの情報共有や地域における必要な支援体制の検討（支援会議）を行います。

これまで支援につながっていなかった潜在的な課題を持つ人や支援を拒否する人に対しアウトリーチを行い、本人や家族との関係づくりから始め、必要に応じて適切な支援関係機関につなぐなど、本人や家族に寄り添った支援を行います。

様々な地域福祉課題の解決に当たって、ライフレスキュー事業やインフォーマルな地域資源などを活用します。

③ 地域へのきめ細かな働きかけ

支え合い推進会議や校区社協役員会、ふれあいの会班長会、地区民生委員児童委員協議会など、住民同士の話し合いの場や支援関係機関、自助グループ等が開催する話し合いの場に参加し、情報共有、支え合う関係づくりの促進、課題解決力の向上を図ります。

また、複合的に課題を抱えた人（世帯）に関して、関係機関等と協力して、中心となる支援機関や役割分担を記載した個別支援計画を作成し、関係者（機関）との連携のもと計画的な支援を行います。

さらに、課題を抱えた当事者が地域に溶け込めるように、自治会やふれあいの会、民生委員・児童委員等に協力を求めながら、住民とともに伴走型の支援を行います。

④ 要支援者の情報を速やかに把握する

これまでの見守り訪問活動の普及により培われてきた、「身近な地域で、お互いに気づき合い、見守り合える関係」をコロナ禍にあっても維持できるよう、好事例の情報等を地域住民と共有し取組みを進めます。

また、近隣世帯の小さな変化から課題や困りごとに気づくことができる住民を増やすため、地域住民を対象とした学習会、研修会等を校区社協等とともに実施します。

さらに、担当コーディネーターは、住民同士の話し合いの場に参加し、地域や個別の世帯等の困りごとや課題を把握し、個別支援チームと連携し支援に努めます。

⑤ 人生あんしん事業

その人らしく人生を終えられるよう、契約に基づき死後事務を行う「人生あんしん事業」を新たに開始します。電話や訪問による定期的な見守りを行うとともに、利用者が死亡した際には、葬儀・埋葬、家財処分などの手続きを行います。

(3) 権利擁護

① 法人後見事業

安定した事業運営のため、市の成年後見制度利用支援事業の利用等により収入の確保に努めるとともに、持続的に法人後見事業が運営できる仕組みの検討を行います。

また、本人に不利益が生じないよう関係機関と連携を図りながら臨機応変な対応を図ります。

② 市民後見人の育成

市が主催する市民後見人養成講座等を受託し、市民後見人の養成を促進します。

また、本会の法人後見支援員の業務内容をより実践に即した内容に拡大し、将来的に市民後見人として単独受任できるように、当該支援員の実務能力の向上に努めます。

さらに、本会が市民後見人を後見監督人として支援できるよう、職務遂行能力の習得に努めるとともに、市民後見人の単独受任を目指し家庭裁判所との連携を図ります。

③ 中核機関業務の受託

市が成年後見制度の利用促進のために設置している中核機関を市と連携を図り運営し、後見人支援等の役割に取り組むとともに、成年後見センターの相談機能の充実と適正・効率的な運営に努めます。

④ 日常生活自立支援事業

利用契約者数に応じた日常生活自立支援専門員を配置し、適正適切な事業運営に努めます。

また、利用契約者の判断能力の低下及び課題に応じて、適切な事業利用及び支援ができるよう、関係機関との連携強化に努めます。

(4) 在宅福祉サービス

① 要介護認定調査業務の整理

要介護認定調査員の資質の向上に努め、要介護認定申請者の心身の状況を的確に把握し、継続して適正な調査を実施するとともに、市と今後の受託期間の用途について協議を行います。

② 介護保険事業経営の方向性の決定

令和5年度末を持って事業（居宅介護支援・訪問介護・通所介護・障害福祉サービス）を廃止し、利用者については、他事業所への移行調整を行いました。

今後は、福祉会館「あおぞら」の有効活用の検討を行います。

(5) 災害への対応

① 災害ボランティアセンター運営と本会の業務執行体制の確保

いつ、災害が起こっても災害支援が安定的かつ継続的にできるよう、福岡県社協や近隣社協及びNPO法人、大学や企業、事業所、団体等と人的な支援、資機材の提供や物資等の運搬・配送などについて、平常時から情報共有の場をもち、必要に応じて連携協定を結びます。

また、専門性や高いスキルを有した災害ボランティアを速やかに確保するため、災害支援ネット「ハッシュ#」をはじめとする関係機関と連携し、研修等による災害ボランティア活動経験者のスキルアップに努めます。

なお、市民に対し必要なサービスを届ける業務執行体制を維持するため、事業継続計画（BCP）については、災害対応を想定した、より実効性のあるものに見直します。

② 非常時の支え合い

平時からの見守りや支え合いの促進を目指し、避難行動要支援者名簿を活用した見守り訪問活動を促す。

また、避難行動要支援者への支援体制づくりとして、地域住民や関係機関とともに災害時マイプラン作成の支援に取り組みます。

さらに、避難行動要支援者が所属する団体への防災講座等に参加し、災害時マイプラン作成を通して非常時の支え合いについての、周知・啓発に努めます。

(6) 情報の発信・広報

① 計画的、効果的な広報

アンケートやSNSの閲覧回数などを参考にして、住民が求めている情報は何かを把握するとともに、年間計画を作成し、タイムリーに必要な情報を発信します。

また、点訳・音訳による視覚障害者への情報提供に配慮するとともに、SNS世代ではない年齢層への対応として、担当コーディネーターが地域の会議等に出向いた際は参加者に情報提供し、その情報を地域住民へ伝えていただくようにします。

さらに、情報発信のさらなる充実・強化について検討を進めるとともに、研修等による職員のスキルアップを図ります。

媒体別では、広報紙「くるめ福祉」の内容充実を図るとともに、レイアウト・デザインについて、わかりやすく魅力あるものとなるよう努めます。

校区社協や支え合い推進会議の取組みを広く紹介、周知する「つながるスイッチ！」を作成し、市社協のホームページやFacebookで周知するとともに、紙媒体でも作成し、地域へ積極的な周知を図ります。

ボランティアセンター広報紙「まれっと」の内容充実を図ります。

また、SNSの情報発信回数を増やし、双方向性を生かした情報発信を行うとともに、スマートフォンでも閲覧しやすいホームページを提供します。

さらに、テレビ局、新聞社等多様な媒体に積極的に情報提供を行います。

② 積極的な情報公開

現況報告書、事業計画書、事業報告書などの法人情報について、ホームページ等による円滑な提供に努める。

また、本計画やくるめ支え合うプラン（地域福祉活動計画）など、本会が策定した計画を始め、久留米市社協ガイド、災害ボランティア設置運営マニュアルなどの様々な情報について、ホームページなどで公開を進めます。

2. 事務局体制に関する取組み

(1) 組織

① 企画・調整機能の強化

各課業務を横断して調整し、事業の進捗管理など、全体調整や中長期的なスパンで本会運営について企画・調整の強化を図ります。

② 新たなニーズに対応した組織の見直し

「断らない相談・支援」や「伴走支援」などの新しいニーズに対応するために、住民の相談しやすさを最優先に限られた人材を最大限に活かすという観点から組織の在り方を検討します。

(2) 職員

① 人材育成

「人材育成基本方針」に沿った階層別研修、専門研修等を行い職員の能力向上を図ります。

また、実践的に行われるOJTが人材育成の基本であることから、OJTマニュアルを作成するとともに、効果的なOJTの実施を進めるために、各職場にて業務マニュアルやトレーニングツールの整備を行います。

(3) 事務事業

① 既存の事務事業について、統廃合や実施方法の見直し、必要性の精査を行う。

また、会計処理及び税務処理に関する制度変更について、効率的に運用できるよう対処する。さらなる、ICT化による事務効率化及び電気料金、保守管理をはじめとした各種契約内容の検証・見直しを継続し、より一層のコスト削減を進めます。

3. 財源に関する取組

(1) 財源の確保・活用

① 公募事業への参画

指定管理施設（総合福祉会館、田主丸老人福祉センター、三潁総合福祉センター）は、令和6年度で現行の指定管理期間を満了します。財源確保及び地域福祉推進の重要拠点化をめざし、次期指定管理者応募に向けて準備を進めます。

② 自主財源の確保

地域住民に対し、本会の活動に対する理解促進を図りながら、より一層の支援を呼びかけます。

また、住民のニーズに対応しつつ、自主財源につながる事業の創出や、地域福祉活動を推進させる新たな自主財源の確保に向けて調査・検討を行います。

IV. 付属明細書

(1) 社会福祉協議会管理施設利用者状況

(単位：人)

区分 \ 年度	R1	R2	R3	R4	R5
総合福祉センター	7,291	4,879	4,976	6,508	6,340
総合福祉会館	68,617	30,296	26,701	40,485	44,000
田主丸老人福祉センター	28,540	19,764	16,380	19,942	18,529
三潁総合福祉センター	36,771	19,222	18,356	26,928	29,292
計	141,219	74,161	66,413	93,863	98,161

* 田主丸老人福祉センターは、平成27年度から指定管理者となる。

* 新型コロナウイルス感染症の影響により一部臨時休館（令和2年3月7日～令和2年5月25日）

（令和3年5月12日～令和3年6月20日）

（令和3年8月10日～令和3年9月30日）

(2) ふれあい福祉相談所事業状況

心配ごと相談を進展、発展させた相談事業で、ふれあいのまちづくりの一環として、相談員等が解決のお手伝いをします。

○令和5年度 相談区分別、月別ふれあい福祉相談カード提出実績

NO	相談区分 (月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	在宅福祉・介護	17	7	5	2	10	5	6	7	2	9	8	0	78
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	介護保険	9	4	4	9	4	4	9	2	4	6	4	2	61
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	健康・保健医療	8	7	4	7	3	2	10	11	7	7	4	1	71
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	子育て・母子保健	2	3	12	0	1	1	2	2	2	2	3	0	30
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	子どもの地域生活	34	34	25	0	8	31	1	33	29	28	33	0	256
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	子どもの教育・学校生活	3	1	1	0	0	2	1	1	5	5	7	1	27
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	生活費	0	3	1	1	0	2	5	2	2	1	1	0	18
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	年金・保険	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	仕事・就職	1	0	2	1	0	1	1	0	0	1	0	0	7
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	家族関係	2	4	3	2	0	4	0	2	1	10	1	4	33
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	住居	4	3	1	9	0	2	2	2	1	4	2	0	30
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	生活環境	10	11	2	3	4	6	6	5	5	9	9	0	70
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	日常的な支援	37	40	32	33	35	34	35	36	44	49	67	2	444
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	その他	19	12	14	18	19	13	19	9	30	14	30	3	200
		6	2	3	2	1	3	0	0	0	0	0	0	17
合 計		146	129	106	85	84	107	97	112	132	145	169	13	1,325
		6	2	3	2	1	3	0	0	0	0	0	0	17

※ 上段：全体取扱数 下段：ふれあい福祉相談室（総合福祉センター内）取扱数

(3) 生活福祉資金貸付状況

障害者世帯・高齢者世帯・低所得世帯に対し、生活福祉資金の貸付を行い、当該世帯の経済的自立と生活意欲を高めるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図っています。

(単位：件・円)

年度		R1	R2	R3	R4	R5
総合支援資金	生活支援費	5	0	0	0	0
		1,730,000	0	0	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
福祉資金	福祉費	30	15	33	20	31
		4,823,000	2,488,000	6,956,000	3,281,000	10,800,000
	緊急小口資金	21	24	9	11	17
		1,791,000	2,324,000	86,000	1,100,000	1,660,000
教育支援資金	教育支援費	20	28	36	37	44
		8,240,000	7,802,000	10,086,000	12,312,000	16,795,000
	就学支度費	18	28	38	37	41
		6,118,000	9,617,000	13,724,000	10,400,000	14,567,000
不動産担保型生活資金	0	1	0	0	0	
	0	130,000	0	0	0	
臨時特例つなぎ資金	1	0	0	0	0	
	100,000	0	0	0	0	
緊急小口資金特例 【R2年7月豪雨災害】			1			
			100,000			
緊急小口資金特例 【新型コロナ】	41	2,791	1,506	499		
	7,000,000	406,000,000	20,403,000	73,150,000		
総合支援資金特例 【新型コロナ】		3,666	2,752	440		
		1,913,399,000	1,444,370,000	227,320,000		
計	136	6,554	4,374	1,044	133	
	29,802,000	2,314,860,000	1,495,625,000	327,563,000	43,822,000	

(4) 特例貸付相談事業【新型コロナ】

コロナ特例貸付を借りられた方への償還等に関する相談支援。

(単位：件)

年度	R2	R3	R4	R5
相談支援件数				392

(5) 福祉人材バンク職業紹介事業
無料職業紹介事業

< 求職状況年度推移 >

(単位：人)

年度		R1	R2	R3	R4	R5
来所登録	新規求職者数	63	59	77	87	84
	有効求職者数	16	14	23	30	24

< 求職状況年度推移 >

(単位：件・人)

年度		R1	R2	R3	R4	R5
1)	新規求人件数	670	686	689	646	559
2)	新規求人数	1,559	1,527	1,524	1,468	1,251
3)	新規求人施設数	209	250	231	217	207
4)	有効求人件数(※1)	1,763	1,899	1,912	1,805	113
5)	有効求人数(※1)	4,128	4,171	4,188	4,070	262
6)	有効求人施設数(※1)	509	595	579	519	41
7)	応募・紹介者数	2	2	1	3	28
8)	採用人数	5	6	10	8	8
9)	就職前辞退人数(※2)					1
10) 就職後6ヶ月以内(※3)	解雇					1
	離職					1

※1 労働局に提出する3月末時点の有効求人数

※2 採用決定後就職前に辞退した人数

※3 対象は前年度採用者

< 相談状況年度推移 >

(単位：人)

年度		R1	R2	R3	R4	R5
計		850	1,020	931	969	1,038
求人		720	895	744	771	802
求職		130	125	187	198	236

< 65才以上の高齢者に対する職業紹介推移 >

(単位：人・%)

年度		R1	R2	R3	R4	R5
紹介者数		1	0	0	0	0
就職者数		1	0	0	0	0
就職率		100	0	0	0	0

(6) 社会福祉協議会会員制度状況

社会福祉事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることに賛同し目的達成のため必要な援助を行う会員制度に入会された方。

- ・正会員（年額 1口 3,000円以上）
- ・賛助会員 個人会員（年額 1口 1,000円）
- 法人会員（年額 1口 5,000円）

正会員、賛助会員加入状況

(単位：件・口・円)

区分		年度	R1	R2	R3	R4	R5
正 会 員		加入数	48	48	48	51	50
		口 数	48	48	48	51	50
		金 額	144,000	144,000	144,000	153,000	150,000
賛 助 会 員	個人	加入数	137	136	127	95	88
		口 数	218.5	197	203	149	129
		金 額	218,500	197,000	203,000	149,000	129,000
	法人	加入数	4	4	2	21	8
		口 数	4	4	2	131	37
		金 額	20,000	20,000	10,000	655,000	185,000
計		会員数	189	188	177	167	146
		口 数	270.5	249	253	331	179
		金 額	382,500	361,000	357,000	957,000	464,000

(7) 共同募金運動状況

「赤い羽根」共同募金運動として毎年、10月1日～12月31日まで全国一斉に行われている、地域福祉の推進を目的とした募金。

(単位：千円・%)

区分		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
目 標 額			72,731	73,500	73,041	72,873	72,566	
募 金 総 額			73,500	72,672	72,874	72,565	72,776	
実 績 額	一 般 募 金	総 額	57,724	56,902	57,264	57,157	57,216	
		内 訳	戸 別	41,101	40,663	41,432	41,012	41,297
			そ の 他	16,623	16,240	15,832	16,145	15,919
歳末たすけあい募金			15,776	15,770	15,608	15,408	15,560	
目標額に対する割合 (%)			101.1	98.9	99.8	99.6	100.3	

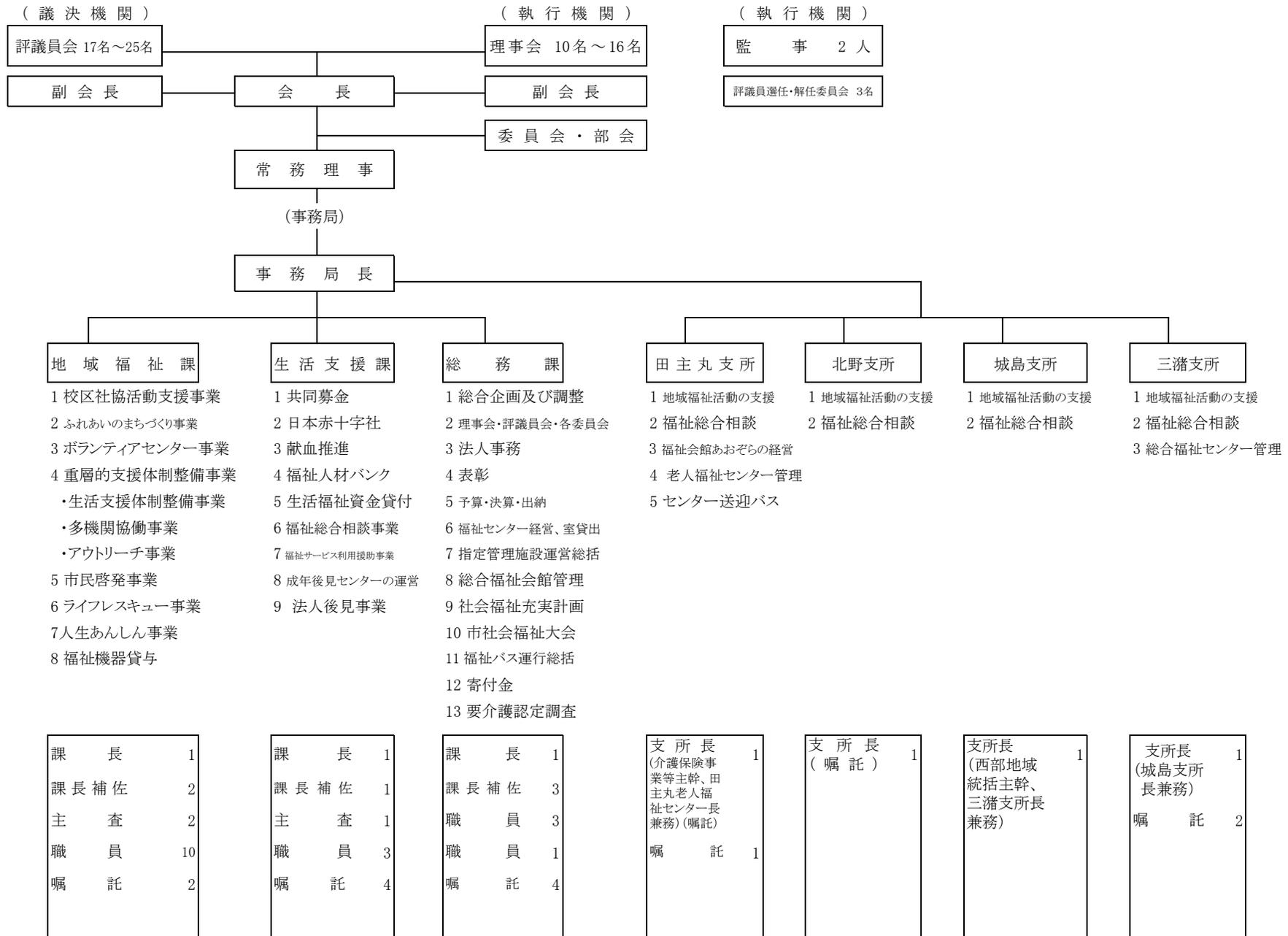
(8) 日赤活動資金

日本赤十字社の活動を支える活動資金の募集状況。

(単位：千円・%)

区分		年度	R1	R2	R3	R4	R5
		目 標 額	25,718	24,576	24,586	24,492	24,381
実績額	総 額	35,048	31,690	32,129	35,192	37,330	
	一 般 活 動 資 金	29,275	28,809	28,880	28,593	28,345	
	法 人 活 動 資 金	514	710	1,124	2,197	1,142	
	高 額 寄 付 金	4,710	1,949	2,075	4,402	7,792	
	そ の 他 (直 轄)	549	222	50	0	51	
目標額に対する割合 (%)		136	129	131	144	153	

社会福祉協議会組織構成図(令和6年4月1日現在)



2. ボランティア登録団体一覧表

番号	対象	グループ名	代表者名	連絡先 (住所・電話)	発足年	会員構成・主な活動内容・財源等
1	広域	久留米市ボランティア 連絡協議会	(会長) 浦川 豊彦	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	1977年	・ボランティアグループ 約 65 団体 ・情報交換、研修会の開催 情報誌の発行 ・社協補助金 正会員 (年) 2,000 円
2	広域	日本赤十字社 福岡県支部安全奉仕団 筑後地区安全普及会	中村 和彦	宮ノ陣町 3-4-27 日本赤十字会館内 0942-36-5858	1970年	・会員数 36人 ・人の安全を守るため、水上安全 法や救急法を通じて指導 ・毎月数回活動
3	広域	くるめすこやか推進会	松尾 賢二	北野町乙吉 109-23 0942-78-3598	1986年	・会員数 84人 ・健康づくり運動の啓発とPR ・年会費 1,000円
4	広域	久留米市食生活改善推 進員協議会	和田 久子	城南町 15-5 0942-30-9331	2004年	・会員数 257人 ・地域住民を対象に、食を通して の学習会や調理実習等を開催
5	広域	福岡県生涯学習イニ シアターの会・久留米支部	江上 憲一	篠山町 164-3 (江上宅) 0942-39-7300	2001年	・会員数 18人 ・生涯学習啓発ボランティア活動 生涯学習派遣活動 ・学習会第4土曜 公開講座3ヶ月に1回 ・会費 参加時のみ 200円
6	広域	NPO法人 シニアネット久留米	牟田慎一郎	御井町 387 府中公民館内 0942-65-4545	2000年	・会員 176人 ・インターネットを絆とし、情報 弱者・格差をなくし、シニアの 豊かな生活・生きがいづくり、 住み良い環境作りの支援をする。
7	広域	『せらびいー・お手玉 会』	中垣 麗子	北野町仁王丸 33 0942-78-4645	2002年	・会員数 9人 ・技術を生かしたボランティア活動 ・フォローアップ研修 ・福祉祭への協力 ・町内の施設訪問 ・いきいきサロンへの協力 ・お手玉をした後にセラピュー ケアを一緒にします。
8	広域	NPO法人 ホームレス支援 久留米越冬活動の会	寺崎 繁	原古賀町 20-1 レ・ハート 105	2008年	ホームレスの生活支援 21人 〔食の提供・就労支援・医療相談 ・すまいの相談〕に応じる団体
9	広域	くるめ傾聴ボランティ アろばの耳	小田 静代	諏訪野町 1830-6 え〜るピア 久留米内	2011年	・会員数 42人 ・会費 2,000円 ・福祉施設内での傾聴活動

番号	対象	グループ名	代表者名	連絡先 (住所・電話)	発足年	会員構成・主な活動内容・財源等
10	広域	配食ボランティア	田中 和子	三瀨町玉満 1790 ゆうゆう 内 090-7986-7272	2000年	・会員数 16人 ・社協の配食サービスの支援。 人数に余裕がある週は声掛け 担当が利用社宅を訪問し話相 手ボランティアをしている。
11	広域	久留米ITリーダーズ クラブ	江上 憲一	篠山町164-3 39-7300	2004年	・会員数 10人 ・年会費 1,000円 ・パソコン講座の開催 何でも相談 ・毎月第3土曜日
12	広域	福岡県広域防災士ネッ トワーク (特定非営利活動法人 日本防災士会 久留米 支部)	矢野 彰	御井町516	2007年	・会員数 45人 ・会費 1,500円 ・防災士としての活動と技術 研鑽を支援
13	障害	久留米手話の会	二宗 幸子	西町463-6 35-7856	1973年	・会員数 80人(一般) ・手話通訳の派遣 手話ボランティア養成講座 ・毎週火・水曜日例会 ・社協補助金 ・会費(年) 2,000円 (えるピア久留米)
14	障害	パソコン点訳 コミュニケーションの 会	角光久仁子	長門石1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	1992年	・会員数 5人 ・「広報くるめ」等をパソコンで点訳 ・会費なし
15	障害	フレンドバスケット	立石八代子	梅満町 1100-1 205 非公開 35-4739	1995年	・会員数 11人 ・障害児者とボランティアの バスケットを通じての交流 ・活動日 土曜日 ・社協補助金
16	広域	久留米大学看護学科 ボランティアサークル はなみずき	加悦 美恵	東櫛原町777-1 31-7714	1998年	・会員数 58人 ・ALS(難病)患者への在宅支援 ・子どもキャンプ、ワHEELS推進活動
17	障害	認定特定非営利活動法 人 日本車椅子レクダンス 協会 久留米支部	木下 一	宮ノ陣4-14-18 38-9303	1998年	・会員数 14人 ・車椅子使用者と車椅子レク ダンスを通じ親睦を図る ・技術者養成 ・社協補助金 ・年会費 2,000円
18	障害	パソコン要約筆記の会 「PCくるめ」	橋本みどり	長門石3-11- 21-403号 090-1194-6050	2003年	・会員数 23人 ・聴覚障害者に対する要約筆記 支援ボランティア活動・講演会 や大学の授業など派遣業務も 実施 ・会費 1,000円

番号	対象	グループ名	代表者名	連絡先 (住所・電話)	発足年	会員構成・主な活動内容・財源等
19	障害	朗読ボランティア 『コスモス』	大塚 泰子	久留米市北野町 金島 1674-1 78-6129	1987年	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 16人 ・視力障害者への広報誌などのテープ録音 ・視力障害者への集いの協力 ・大型紙芝居での施設訪問 ・サロン訪問
20	障害	北野手話の会	竹内美香子	宮ノ陣4丁目 23-28 0942-35-2145	1991年	<ul style="list-style-type: none"> ・手話養成講座の実施 ・会員数 27人 ・聴覚障害者への手話通訳 ・各小学校への福祉教育協力 ・年会費 1,000円
21	障害	久留米市 自閉症児・者 親の会	肥川 光子	久留米市高野 1-2-12 38-0359	1976年	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 25人 ・自閉症児者の方の余暇活動支援や共同作業所での作業、自閉症の研修会などを実施
22	高齢者	特定非営利活動法人 にこにこ会	岩坂 茂子	鳥栖市藤木町 2346-1 85-1163	1955年	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 38人 ・活動日 月1回 ・社協補助金 ・会費 2,400円
23	施設	大嗣会	勝田 博	三潴町早津崎 872-4 64-3374	1996年	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 9人 ・三潴総合福祉センターや社協の支援活動を中心に環境美化活動に取り組んでいる。
24	施設	くるめ健康血回し 愛好会	幾野 慶次	大手町4-1 32-3039	2002年	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 8人 ・イベント参加・施設への慰問 ・会費 1,000円
25	児童	久留米BBS会	梅野 哲史	南1-8-17 32-2943	1962年	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 5人 ・児童養護施設への訪問ボランティア等
26	児童	託児ボランティア 「レインボー」	村田 佳美	東櫛原 1261-2 34-8475	1999年	<ul style="list-style-type: none"> ・入会随時可・会員 23人 ・社協補助金 ・会費(年) 1,200円 ・主に託児支援 ・月1回第1金曜日定例会、学習会、おもちゃ製作など
27	児童	福岡県青少年科学館 ボランティア会	幸 順二	東櫛原町 1713 0942-37-5566	1990年	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 42人 ・科学教育等ボランティア ・活動日 普及：土日、天体：土曜
28	児童	特定非営利活動法人 子育て支援ボランティア「くるるんるん」	福田 桂子	天神町8 リベール5F 0942-34-5571	2008年	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 100人
29	児童	特定非営利活動法人 子育て支援ボランティア「くるるんるん」 え〜るピア 「子ども交流」	福田 桂子 山村 秀敏	天神町8 リベール5F 0942-34-5571 荒木町荒木 1588-6 0942-26-8201	2008年 2008年	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て交流プラザ内での

番号	対象	グループ名	代表者名	連絡先 (住所・電話)	発足年	会員構成・主な活動内容・財源等
	児童	特定非営利活動法人 子育て支援ボランティア「くるるんるん」	福田 桂子	天神町 8 リベール 5F 0942-34-5571	2008 年	育児ボランティア活動
30 31	児童	特定非営利活動法人 子育て支援ボランティア「くるるんるん」 え〜るピア 「子ども交流」 久留米大学病院 ボランティア NPO 法人結の会	福田 桂子 山村 秀敏 下川 朋義 田村真由美	天神町 8 リベール 5F 0942-34-5571 荒木町荒木 1588-6 0942-26-8201 旭町 67 久留米大学病院 管理課 0942-31-7602 梅満町 4-1 080-3374- 3143(fax) 0942-65-9330	2008 年 2008 年 1998 年 2011 年	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 15 人 ・年会費 1,000 円 ・中央図書館、耳納市民センター図書館、幼稚園等で ①わらべ歌 ②変わり絵 ③大型絵本 ④紙芝居 ⑤ペープシアター ⑥マジック など 要請に応じて企画し、全員でふれあい訪問活動をしている
						<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 30 人 ・久留米大学病院内ボランティア ・活動日 月～金曜日
						<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 26 人 ・年会費 3,000 円 ・末期がんなどで在宅にて緩和ケアを受けている患者・家族の生活支援
32	医療	社会医療法人 雪の聖母会 ボランティア	西井 涼子	津福本町 422 聖マリア病院内 35-3322	1997 年	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 52 人 ・年会費 2,000 円 ・受付案内、院内ガイド、車椅子補助 ・ホスピス病棟内での傾聴活動 ・行事支援 ・患者図書室の管理、貸出等の対応 ・車椅子点検、清掃
33	環境	石けんを広め 自然環境を守る 久留米市民の会	時井 純子	中央町 21-17 0942-30-9188	1980 年	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 40 人 ・エコライフ活動ボランティア
34	障害	ダウン症児・親の会 「翼の会」	大和いずみ	小森野 2 丁目 1-40-4 090-4998-3151	1993 年	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 35 人 入会随時 ・年会費 2,000 円
35	児童	ときめき絵手紙の会	太田 喬子	南 4-29-20 22-1590	2004 年	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 15 人 ・第 2・4 月曜日 勉強会

番号	対象	グループ名	代表者名	連絡先 (住所・電話)	発足年	会員構成・主な活動内容・財源等
36	高齢者	サロンレクリエーションサポーター3班こすもす隊	末金千鶴子	田主丸町豊城 536-3 73-3372	2012年	・会員数 5人 ・入会条件：サロンサポーターレクリエーション講座を受講終了した人 ・久留米市東部(北野～田主丸)で活動
37	障害	筑後川花火大会をみんなで見える会	平田 浩二	東櫛原町 1331-2-109号 090-4988-6890	2014年	・会員数 16人 ・障害を持つ人が花火に行くための支援を行う
38	高齢者	認知症への理解を広める会・久留米	江上 憲一	篠山町 164-3 39-7300	2010年	・会員数 13人 ・年会費 1,000円 ・認知症サポーター養成講座を行っている。
39	高齢者	サロンレクリエーションサポーター1班久レヨン	飛永由記代	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	2012年	・会員数 3人 ・会費 100円 ・いきいきサロン等で介護予防・孤立防止のための活動を行う
40	高齢者	サロンレクリエーションサポーター2班はっぴ～い会	牟田 伸子	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	2012年	・会員数 14人 ・年会費 500円 ・いきいきサロンでの高齢者支援活動
41	地域	三瀨町総合ボランティアセンター	永田 一伸	久留米市三瀨町玉満 1790 三瀨総合福祉センター「ゆうゆう」内	2004年	・会員数 70人 ・まちづくりに関するボランティア活動推進および支援ボランティアネットワーク構築福祉教育講師派遣。小学生向けボランティア体験活動実施 ・2～3か月に1回定例会 ・会費 500円
42	障害	聴覚障害教育支援NPO法人言葉の森くるめ	山崎佳都子	諏訪野町 2546-3-1005 080-4287-5468	2013年	・会員数 20人 ・久留米聴覚特別支援学校に通う幼児・児童の放課後支援 ・2～3か月に1回定例会 ・会費
43	施設	北野ハーモニカクラブ	田中 正敏	北野町十郎丸 1355-1 78-2359	2008年	・会員数 12人 ・老人福祉施設、いきいきサロン、老人憩いの家慰問。子ども土曜塾での指導。地域のイベント出演等 ・月1回定例会 ・会費 2,000円
44	高齢者	久留米市キャラバン・メイト連絡会	堀江 桃子	篠山町 164-3 (江上様宅) 0942-39-7300	2013年	・会員数 87人 ・認知症サポーター養成講座の講師活動。地域、学校、企業等を対象にした認知症サポーター養成講座の実施 ・2～3か月に1回定例会 ・年会費 1,000円

番号	対象	グループ名	代表者名	連絡先 (住所・電話)	発足年	会員構成・主な活動内容・財源等
45	障害	連携サポート くるめりい	廣重 深幸	荒木町荒木 1652-1 26-2314	2015年	・会員数 5人 ・特別支援教育セミナー、 相談会、講演会、上映会等 ・会費なし
46	障害	心眼ハート♡あいず	長谷部寿子	三養基郡みや き町白壁 894-9 090-3987-3327	2015年	・会員数 30人 ・視覚障害児者、保護者および 支援者の交流会 福祉情報や視覚障害児者の子 育てについての情報交換会、学 習会を実施 視覚障害に関する理解啓発活動 ・2か月1回定例会 ・年会費 1,000円
47	高齢者	えーるピア久留米生涯 学習センター利用者の 会 第二事業部	伊藤 繁信	諏訪野町 1830- 6 30-7900	2001年	・会員数 200人 ・福祉施設を訪問、交流し、身に つけた事業活動を紹介する
48	児童	安武子ども食堂	浦川 豊彦	安武町住吉 741-1 080-6118-5285	2014年	・会員数 20人 ・食事の提供等、子どもを地域 ぐるみで支え合う活動
49	児童	久留米市母子寡婦福祉 会	藤田 君子	長門石 1-1-32 39-2277	1949年	・会員数約 370人 ・母子寡婦の自立に向けての 日常生活支援、親子ふれあい 事業 等
50	広域	フードバンクくるめ	浦川 豊彦	城島町城島 689-2 62-2896	2017年	・会員数 60人 6団体 ・食品ロスと貧困問題の橋渡し で社会問題の低減を図る
51	広域	地域活動応援塾・くる め	江上 憲一	篠山町 164-3 (江上様宅) 0942-39-7300	2017年	・会員数 10人 ・生きがい活動、デビュー応援
52	広域	特定非営利活動法人久 留米筑後観光開発 千 歳の会	牛嶋 英孝	国分町 518-1 エイコーハイ ツ 101号 80-6704	2016年	・会員数 10人 ・久留米筑後の観光資源の調査・ 発掘し経済活動へつなげる
53	広域	あじさいクラブ	石橋 良子	御井町 1708-3 43-2950	2018年	・会員数 9人 ・ニュースポーツの輪を広げ る
54	広域	舞・新鮮組 久留米支 部	樋口 英明	城島町江上上 272-5	2018年	・会員数 11人

番号	対象	グループ名	代表者名	連絡先 (住所・電話)	発足年	会員構成・主な活動内容・財源等
55	高齢者	プロジェクトX	堤 正昭	山本町耳納 1543-5	2018年	・会員数 10人 ・男性の介護教室
56	広域	安武和太鼓の会 《福 寿太鼓》《MIYABI》	大谷 礼子	安武町住吉 1039-41 26-2145	2004年	・会員数 17人 ・和太鼓演奏
57	広域	北野町ボランティア 連絡会「さくら」	永松 千枝	北野町大城 80- 11 78-4667	2017年	・会員数 210人 ・地域ボランティア 調査、研究、学習等
58	広域	NPO 明るい社会づくり運動 県南地区協議会	大倉 善晴	国分町 1591 32-5683	1977年	・会員数 360人 ・チャリティーコンサート、 バザー、奉仕活動
59	高齢者	フラワー珈琲の会	田村 美雪	中央町 1-1- 1808 090-7297-4651	2019年	・会員数 18 ・淹れたてのコーヒーによるサ ロンや地域イベント等への参加
60	高齢者	くるめ蕎麦打ち迷人の 会	辻 正利	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	2019年	・会員数 17人 ・手打ちそばによるサロンや 地域イベント等への参加
61	障害	NPO 法人 ほのぼの	伊藤 秀子	高野 1-2-12 46-9218	2011年	・就労移行支援、バザー
62	障害	ポレポレ倶楽部	高田 次雄	安武町武島 468-2 出会いの 場ポレポレ内 27-2039	2011年	・就労移行支援、コミュニティづ くり推進事業
63	広域	抹茶ボランティア会	野嶋 文香	大石町 575 岩寄方 080-5609-7274	2021年	・会員数 20人 ・地域のサロン等や地域イベン トへの参加
64	広域	久留米市ディスコン協 会	木下 一	宮ノ陣 4-14-18	2017年	・会員数 13人 ・ニュースポーツの普及・推進
65	高齢者	ボランティア歌声デリ バリー	吉田 麻紀	長門石 1-1-34	2023年	・会員数 8人 ・地域でのサロン・イベント等 での歌唱ボランティア
66	広域	一般社団法人 隣友の会	江頭ひとみ		2020年	・会員数 18人 ・第4土曜日にフードドライブ ・国籍に関わらず生活困難事 への支援
67	高齢者	特定非営利活動法人 久留米市 手をつなぐ育成会	藤野 薫	長門石 1-1- 34	2008年	・就労移行支援、コミュニティづ くり推進事業
68	広域	一般社団法人女性と子 どものエンパワメント 研究所(通称ぱ～ぷる リボン)	石本 宗子	諏訪野町 1810- 6 パステル 12 206	2002年 (2023 年法人 化)	・会員数 100人 ・シェルターを拠点とした、DV 被 害者への支援活動

番号	対象	グループ名	代表者名	連絡先 (住所・電話)	発足年	会員構成・主な活動内容・財源等
69	広域	昔遊びの広場	木下 等		2010年	・会員数 10人 ・伝統文化(昔遊び)の伝承を通じた交流
70	障害	久留米喉友会	高巢 詔二	旭町 67 久留米大学耳鼻咽喉科		・会員数 18人 ・発声教室等を通じ、会員の交流と社会復帰を目指す
71	国際	久留米大学国際交流・協力支援サークル「Worcal」	増田 陽介	御井町 1635 久留米大学 松田研究室内	2014年	・会員数 28人 ・国際交流活動(iサイクル活動) ・災害ボランティア活動
72	広域	久留米大学災害ボランティアネットワーク「ゆめくる」	江無田優香	御井町 1635 久留米大学 松田研究室内	2013年	・会員数 20人 ・災害ボランティア活動 ・復興支援活動
73	広域	特定非営利活動法人ワンストップリーガルネット	中村 誠治	東櫛原町 1313-2	2006年	・会員数 45人 ・弁護士など有資格者らによる無料相談会の開催
74	広域	ふいりあ	吉岡 千佳	久留米市津福本町 422 聖マリア学院 大学内	2011年	・会員数 25人 ・災害ボランティア ・iサイクル活動、イベント参加
75	広域	ほとめきにわか隊	於保 藤億		2010年	・会員数 12人 ・「久留米にわか」の伝承と普及を通じた地域交流

(社会福祉協議会調べ)

年度 区分	グループ数						
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
広域	2	2	2	2	24	24	30
地域	57	59	59	56	36	1	1
障害	16	15	15	15	14	14	17
高齢者	17	15	16	16	14	11	11
施設	9	8	8	6	6	5	3
老人障害	0	0	0	0	0	0	0
児童	9	9	9	9	9	9	8
医療	3	3	3	3	3	3	3
環境	3	3	3	2	2	1	1
国際	0	0	0	0	0	0	1
計	116	114	115	109	108	68	75

3. 保健福祉基金

名称	久留米市社会福祉振興基金		久留米市石橋福祉基金																									
設置	昭和58年4月1日		平成2年3月28日																									
目的	社会福祉の向上充実を図るために必要な事業の推進		福祉施設等の設備整備及び福祉活動の推進																									
基金	令和3年6月基金統合	173,195,462円	令和元年度末残高	156,525,392円																								
	令和4年度末残高	173,556,647円	令和2年度寄附額	0円																								
	令和5年度寄附額	156,815円	令和2年度取崩額	0円																								
	令和5年度取崩額	0円	令和2年度末残高	156,537,025円																								
	令和5年度末残高	173,717,737円	(令和3年6月1日)	(基金統合)																								
利子	令和5年度利子額	4,275円	令和3年度利子額	-																								
	平均利率	0.004%	平均利率	-																								
事業内容	<p>(1) 社会福祉協議会の行う事業への補助 47千円 (H27) 636千円 (H28) 214千円 (H29) 161千円 (H30) 8千円 (R01) 0千円 (R02)</p> <p>①ふれあいのまちづくり事業 ・地域福祉ネットワーク事業等</p> <p>②ボランティア事業 ・ボランティアフェスティバル、 各種ボランティア講座等</p> <p>(2) 社会福祉施設整備費補助 ①老人福祉施設整備費 86,983千円 (H15) 0千円 (H16-R02) ②社会福祉施設整備費 39,443千円 (H15) 0千円 (H16-R02)</p> <p>(3) 社会福祉協議会運営費補助 (H16から) 50,000千円 (H16) 0千円 (H17-H18) 50,000千円 (H19) 0千円 (H20-H25) 50,000千円 (H26) 0千円 (H27-H30) 0千円 (R01) 100,000千円 (R02)</p>		<p>(1) 福祉施設等設備整備費補助金 (H12から休止) テレビ・ビデオ等の購入費補助</p> <p>○対象 ①市内の福祉施設 ②入居者の1/2以上が久留米市民、または1/2以上を久留米市が措置 (老人ホーム、身障知障施設、知障児通園施設、共同作業所等)</p> <p>○実績 30件 2,649,720円 (H10) 31件 1,619,259円 (H11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">上限(千円)</th> <th colspan="2">件数</th> </tr> <tr> <th>H10</th> <th>H11</th> <th>H10</th> <th>H11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内施設、市外施設で市民が半数以上、または30人以上</td> <td>100</td> <td>60</td> <td>22</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>市外施設で市民が20人以上、30人未満</td> <td>75</td> <td>45</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>市外施設で市民が10人以上、20人未満</td> <td>50</td> <td>30</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 福祉活動事業費補助金 (H13から休止) 民間福祉団体の行う福祉事業補助</p> <p>○補助基準 1事業10万円まで (H10) " 7万円まで (H11) " 6万円まで (H12)</p> <p>○実績 14件 840,000円 (H12)</p> <p>*「久留米市基金条例等の一部を改正する等の条例(令和3年6月1日施行)」に伴い、令和2年度末残高を社会福祉振興基金へ積み立て(基金統廃合)。</p>			上限(千円)		件数		H10	H11	H10	H11	市内施設、市外施設で市民が半数以上、または30人以上	100	60	22	22	市外施設で市民が20人以上、30人未満	75	45	2	2	市外施設で市民が10人以上、20人未満	50	30	6	7
	上限(千円)		件数																									
	H10	H11	H10	H11																								
市内施設、市外施設で市民が半数以上、または30人以上	100	60	22	22																								
市外施設で市民が20人以上、30人未満	75	45	2	2																								
市外施設で市民が10人以上、20人未満	50	30	6	7																								
寄附実績	R03 決算	1,318,436円	4件	H30 決算	0円	0件																						
	R04 決算	354,600円	7件	R01 決算	0円	0件																						
	R05 決算	156,815円	7件	R02 決算	0円	0件																						
	R06 予算	1,500,000円	-件																									
利子実績	R03 決算	6,832円		H30 決算	246,603円																							
	R04 決算	6,585円		R01 決算	11,331円																							
	R05 決算	4,275円		R02 決算	11,633円																							
	R06 予算	839,556円																										
取崩実績	R02 決算	100,000,000円		H30 決算	0円																							
	R03 決算	0円		R01 決算	0円																							
	R04 決算	0円		R02 決算	0円																							
	R05 決算	0円																										

名 称	久留米市境社会福祉基金			久留米市子ども・子育て支援基金		
設 置	平成 17 年 2 月 5 日			令和 3 年 6 月 1 日		
目 的	市内の就労不可能な重度身体障害者に対する見舞金			子どもの健やかな育ちを保障し、子ども・子育てを地域において支え合い、安心して生み育てられる環境づくりの推進		
基 金	令和元年度末残高	10,237,016 円		令和 4 年度末残高	94,527,988 円	
	令和 2 年度寄附額	0 円		令和 5 年度寄附額	2,276,604 円	
	令和 2 年度取崩額	0 円		令和 5 年度取崩額	0 円	
	令和 2 年度末残高 (令和 3 年 6 月 1 日)	10,237,777 円 (基金統合)		令和 5 年度末残高	96,804,592 円	
				令和 6 年度末残高見込	86,331,592 円	
利 子	令和 3 年度利子額	—		令和 5 年度利子額	2,329 円	
	平均利率	—		平均利率	0.005%	
事 業 内 容	<p>(1) 見舞金 (H17 から休止) 運用から生じる収益により、町内の就労不可能な重度身体障害者に対して見舞金を交付する。</p> <p>○対象者 町内に住所を有し、就労不可能な重度身体障害者とし、年齢を 20 歳以上 60 歳未満とする。(基準日を 9 月 1 日とし、病院や施設の入所者を除く)</p> <p>○選考委員会 見舞金支給の適否の審議を行うため、選考委員会を設置する。(旧城島町から引き継いだ事業)</p> <p>*「久留米市基金条例等の一部を改正する等の条例(令和 3 年 6 月 1 日施行)」に伴い、令和 2 年度末残高を社会福祉振興基金へ積み立て(基金統廃合)。</p>			<p>(1) 子ども・子育て支援基金運用事業 社会福祉協議会の行う事業への助成 ○地域における子どもの遊び場整備費助成 (40万円上限) 53 件 3,578,194 円 (R4) 25 件 2,487,526 円 (R5)</p> <p>(2) 子育て交流プラザ運営事業 子育てに関する相談対応、子育てに関する啓発事業、子育てボランティアの交流、一時預かり事業など</p> <p>(3) 地域子育て支援センター事業 子育て相談対応、子育てサークルの育成指導、保護者同士の交流スペースの提供、子育てに関する啓発事業など ※荒木、善導寺、松柏、白峯、田主丸、三瀬、江南、城島、北野</p> <p>(4) ブックスタート事業 絵本の読み聞かせにより、乳幼児と保護者の心の交流を促進し、健全な発達を支援する→生後 4 か月から満 1 歳までの児童及び保護者を対象に市内 9 ヶ所で実施</p>		
寄 附 実 績	H30 決算	0 円	0 件	R03 決算	3,720,000 円	1 件
	R01 決算	0 円	0 件	R04 決算	1,000,000 円	1 件
	R02 決算	0 円	0 件	R05 決算	2,276,604 円	1 件
				R06 予算	1,000,000 円	—
利 子 実 績	H30 決算	16,128 円		R03 決算	3,543 円	
	R01 決算	741 円		R04 決算	3,556 円	
	R02 決算	761 円		R05 決算	2,329 円	
				R06 予算	426,714 円	
取 崩 実 績	H30 決算	0 円		R03 決算	0 円	
	R01 決算	0 円		R04 決算	0 円	
	R02 決算	0 円		R05 決算	0 円	
				R06 予算	10,473,000 円	

令和6年版
保健福祉事業概要

発行	久留米市
所在地	福岡県久留米市城南町15番地3
連絡先	健康福祉部総務 TEL (0942) 30-9022 FAX (0942) 30-9752
	子ども未来部総務 TEL (0942) 30-9829 FAX (0942) 30-9718
発行年月	令和6年9月